



現代社会学部の学び舎、サギタリウス館

# R esearch theme

着任予定教員の研究テーマ

| 研究テーマ |                      |
|-------|----------------------|
| 1     | 社会学、ジェンダー・セクシュアリティ   |
| 2     | 臨床発達心理学、ひきこもり支援      |
| 3     | 教育心理学、大学生の学び         |
| 4     | 青年心理学、アイデンティティ       |
| 5     | 発達心理学、子育て支援          |
| 6     | 知覚心理学、認知神経遺伝学        |
| 7     | 社会心理学、消費者行動          |
| 8     | 心理臨床学、HIV 陽性者への心理的援助 |
| 9     | 臨床心理学、心理アセスメント       |

| 設置概要 | 修業年限      | 4年                                | 取得可能な資格 | 公認心理師受験資格（卒業後に実務経験または大学院進学）／社会調査士資格／産業カウンセラー受験資格（卒業後に学科試験及び実技試験を受験）／認定心理士資格／認定心理士（心理調査）資格／准学校心理士資格／児童福祉司任用資格（実務経験1年）／児童心理司任用資格／児童指導員任用資格／社会福祉士主任任用資格／図書館司書／学芸員／公認スポーツ指導者受験資格 |                                    |
|------|-----------|-----------------------------------|---------|--|------------------------------------|
|      | 開設時期      | 2027（令和9）年4月                      |         | 学費   | 1,246,000円<br>※2027（令和9）年度1年次入学生対象 |
|      | 入学定員・収容定員 | 100人・400人                         |         |  |                                    |
|      | 学位        | 学士（心理学）<br>Bachelor of Psychology |         |  |                                    |

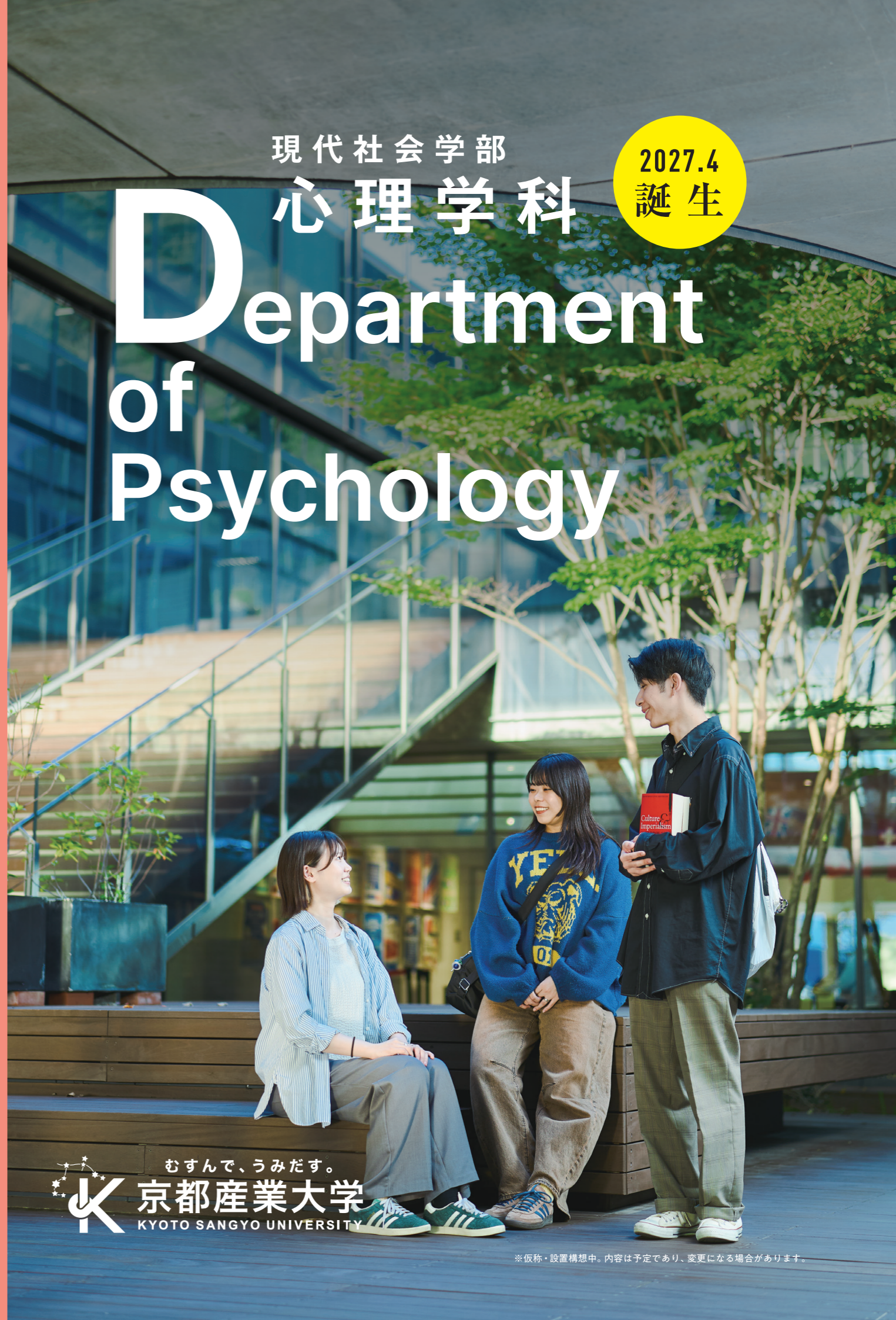
- 経済学部  
経済学科
- 経営学部  
マネジメント学科
- 法学部  
法律学科  
法政策学科
- 現代社会学部  
現代社会学科  
健康スポーツ社会学科  
心理学科<sup>※1</sup> **NEW**
- 国際関係学部  
国際関係学科
- 外国語学部  
英語学科  
英語専攻  
イングリッシュ・キャリア専攻  
ヨーロッパ言語学科  
ドイツ語専攻  
フランス語専攻  
スペイン語専攻  
イタリア語専攻  
ロシア語専攻  
メディア・コミュニケーション専攻  
アジア言語学科  
中国語専攻  
韓国語専攻  
インドネシア語専攻  
日本語・コミュニケーション専攻

- 文化学部  
文化構想学科  
京都文化学科  
文化観光学科
- 理学部  
数理科学科  
物理科学科  
宇宙物理・気象学科
- 情報理工学部  
情報理工学科

- アントレプレナーシップ学環  
※1 仮称・設置構想中。内容は予定であり、変更になる場合があります。  
※2 2027年4月 名称変更予定



現代社会学部事務室  
〒603-8555 京都市北区上賀茂本山  
TEL: 075-705-1724  
https://www.kyoto-su.ac.jp/  
入学センター  
TEL: 075-705-1437



現代社会学部

心理学科

2027.4  
誕生

# Department of Psychology



※仮称・設置構想中。内容は予定であり、変更になる場合があります。

# Message

教員メッセージ

## 「共感」を「解決」する力へ 社会を動かす、新しい心理学が始まる

**藤野**：京都産業大学は「将来の社会を担って立つ人材の育成」を建学の精神として掲げ、教育・研究のさまざまな活動を「むすび」、新たな価値を「うみだす」人材を育成しています。人間の内面を理解し共感する「静」の学問である心理学と、社会を理解し解決を目指す「動」の学問である社会学。本学の「むすびわざ」の精神をもってすれば、相反するようにも見えるこの2つの学問をむすび、これまでにない「新しい心理学」をうみだせると考えています。これが、現代社会学部に心理学科を新設する最大の理由です。

**伊藤**：現代の複雑な社会において、個人の心の問題は、社会のシステムや環境と密接にむすびついています。単に話を聞き、共感するだけでは根本的な解決に至らなかったり、正解がすぐには見えないケースも増えてきました。だからこそ、社会学的視点や客観的事実である「データ」を用いて社会のからくりを理解し、具体的な当面の最適解へとつなげていくアプローチが求められているのでしょう。社会学を掛け合わせた「新しい心理学科」の誕生は、まさに時代の要請に応えるものだとして期待しています。

**藤野**：具体的な解決策を導きだすために、心理学科では「データサイエンス」のスキルを体系的に修得できるプログラ

ムを用意しました。実験や調査を通じて得られる多様なデータを多面的に分析し、根拠に基づき理解する力を育成します。

**伊藤**：一般的に心理学は文系と思われがちですが、実は心理学とデータは切っても切り離せない関係にあります。藤野先生がおっしゃる通り、人の心を単なる感情論ではなく、科学的根拠に基づいて理解し、社会を説得する大きな武器になるのがデータです。

**藤野**：社会を動かすには「しなやかなリーダーシップ」も必要です。周囲を巻き込みながら社会課題の解決を推進できる、次世代のリーダーになってほしいと考えています。

**伊藤**：心理学と社会、そして人々をむすぶ調整役「モデレーター」の存在も忘れてはいけませんね。どれだけ機械やAIが進化しても人にとって代わることのできない領域だと確信しています。

**藤野**：私たちが心理学科に求めるのは、多様な価値観を尊重し、社会をより良く変革したいという意志を持った人材の育成です。心理学の深い人間理解と、社会学の構造理解の視点、そしてデータを扱う確かなスキルを融合し、複雑な現代社会の課題解決に挑みましょう。



Profile :

藤野 敦子

現代社会学部 心理学科 教授 (着任予定)

大阪大学大学院 人間科学研究科 博士 後期課程修了、博士(人間科学)、博士(経済学)。2004年に京都産業大学 経済学部に着任。2017年、現代社会学部 現代社会学科に着任し、初代 現代社会学部長を務める。2025年4月から副学長を務め、心理学科新設の指揮を執る。社会学・ジェンダー・セクシュアリティが専門。



Profile :

伊藤 一美

現代社会学部 心理学科 教授 (着任予定)

京都大学大学院 教育学研究科 臨床教育学専攻 博士後期課程 単位取得満期退学、修士(教育学)。公認心理師、臨床心理士。2027年4月、京都産業大学 現代社会学部に着任予定。臨床実践と教育の両面で活躍。臨床心理学・生涯発達心理学が専門。

# Features

学科の特長

## Feature-01

### 心理学×社会学の ダブル修得

1年次から講義と演習を組み合わせることで、知るだけでなく、話し合いながら考えを深め、心理学と社会学の基礎理解を着実に深めます。心と社会の両方から物事を見る力を育て、今の社会の課題を読み解く土台をつくります。



## Feature-02

### データサイエンス& 社会調査スキル

心理学の研究手法と社会調査を段階的に学び、データを集めて分析し、正しく読み取る力を養います。データを扱う面白さとリスクの双方を理解し、客観的根拠に基づいて考える姿勢を育てます。

## Feature-03

### 他者を巻き込み、 社会に働きかける力

企業や各界で活躍するゲストによる講演や、自分の考えを言語化するパブリック・スピーキングなどを通じて、他者と協働しながら課題を発見・分析し、社会に働きかける、次世代リーダーの素養を身に付けます。



## Feature-04

### 2つのプログラムを軸に キャリアを構築

公認心理師など心理専門職を目指す「臨床心理プログラム」と、企業や地域など多様な現場で心理学の専門性を発揮する「社会・産業心理プログラム」を設置。2つの教育体系を軸に、関心や進路に合わせて学びを選び、心理学の理論と実践を段階的に深めます。



## Feature-05

### 2つの特色ある演習

心理学科の専門的な学修を深める演習に加え、現代社会学部・健康スポーツ社会学科の学生と協働する「プロジェクト演習」を展開します。企業・自治体・福祉機関などのリアルな課題に取り組み、他学科の視点を融合させることで、心理学の知見を社会の現場で生かす応用力と、他者と共創して解を導く多面的な実践力を養います。

# Curriculum カリキュラム

青字：公認心理師指定科目 ★：産業カウンセラー受験資格 ○：准学校心理士必要科目

| 開講時期   | 1年次              |   | 2年次  |  | 3年次  |   | 4年次                             |      |
|--|------------------|---|--|--|--|---|---------------------------------|------|
|  | 専門的な学びの基礎となる力を修得 |   | 基礎をもとに学びを深め、より専門的な学びの基礎となる力を修得                             |  | 専門性を高め、各自の将来像をより具体化  |   | 自立した一人の学習者として、最終成果をまとめ上げる       |      |
|  | 春学期              | 秋学期   | 春学期  | 秋学期  | 春学期  | 秋学期                                     | 春学期                             | 秋学期  |
| <b>基盤科目</b><br>心理学の理論を基礎から応用まで体系的に学ぶ                                   | 必修               | ★心理学概論<br>心理学基礎演習<br>心理学統計法   | 心理学実験演習  | 心理学研究法   |  |   |                                 |      |
|  | 選択必修             |   | ★社会・集団・家族心理学<br>★発達心理学概論<br>★知覚・認知心理学<br>★教育心理学概論          | ★学習・言語心理学<br>★感情・人格心理学<br>★神経・生理心理学<br>現代青年の心理学                              |  |   |                                 |      |
|  | 選択               |   | ★○心理的アセスメント  |  | 心理テスト演習  | 心理演習                                    | 心理実習【通年集中】                      |      |
| <b>臨床心理プログラム</b><br>公認心理師などの資格を目指す上で必要な心理学の知識や理論を修得                    | 選択必修             |   | ★臨床心理学概論<br>★公認心理師の職責<br>★○障害者・障害児心理学<br>★健康・医療心理学 PICK UP | ・家族臨床心理学<br>★関係行政論<br>・高齢者の心理学   | ★精神疾患とその治療<br>★○心理学的支援法<br>○スクールカウンセリング論(教育・学校心理学)<br>○福祉心理学     | ・認知行動療法概論<br>★人体の構造と機能及び疾病<br>・司法・犯罪心理学 |                                 |      |
|  |                  | <b>社会・産業心理プログラム</b><br>心理学、社会学の学びを企業や地域社会で活用するために必要な視座を修得               | ・対人関係論<br>・メディア産業論<br>・現代社会情勢とビジネス                         | ・宗教社会学<br>・ジェンダー論<br>・マス・コミュニケーションと社会<br>・ホスピタリティと企業活動<br>・消費者行動の心理学 PICK UP | ・現代社会とメンタルヘルス<br>・メディア情報リテラシー論<br>・多文化共生論<br>・マーケティング・コミュニケーション論 | ★産業・組織心理学<br>・共生社会のための心理学<br>・セクシュアリティ論 |                                 |      |
|  |                  | <b>データ心理学プログラム</b><br>データから心理を読み解き、施策の意思決定や行動変容を促すために必要な知見を得るための分析手法を修得 | ・エスノグラフィ<br>・文化と感性のデータ解析                                   | 心理学応用実験演習  | 心理カウンセリングの技法   |   |                                 |      |
| <b>演習科目</b><br>講義科目で得た知識や理論、分析手法などを、他者との協働におけるコミュニケーションの中で「社会を変える力」へ昇華 | 選択必修             |   |  | ・基礎セミナー  | ・演習A   | ・演習B                                    | ・演習C                            | ・演習D |
| <b>導入科目</b><br>現代社会学部に通底する社会学、多様かつ複雑な現代社会の諸問題に触れる                      | 必修               | ・社会学入門A PICK UP   |  |  |  |   |                                 |      |
|  | 選択必修             | ・現代社会の諸問題A  | ・現代社会の諸問題B   |  |  |   |                                 |      |
|  | 選択               | ・入門演習A  |  |  |  |   |                                 |      |
| <b>基盤科目</b><br>統計学の基礎理論や調査手法を学ぶ  | 選択必修             | ・社会調査入門   | ・社会調査方法論   | ・社会統計学【複数開講】<br>・社会学英語セミナー   | ・量的調査法<br>・質的調査法<br>・社会調査実習I                                     | ・社会調査実習II                               |                                 |      |
|  |                  |   |  | ・海外フィールドワーク入門【通年集中】  |  |   |                                 |      |
| <b>リーダーシップ科目</b><br>価値観が多様化し、正解のない時代におけるリーダーシップの在り方や発揮の仕方を学ぶ           | 選択必修             | ・神山STYLEリーダーシップ入門 PICK UP   | ・リーダーシップ理論   | ・現代社会とキャリア   | ・地域デザインとリーダーシップ  | ・神山STYLEリーダーシップ応用                       |                                 |      |
|  | 選択               |   |  | ・ボランティアリーダー論<br>・リーダーシップスキルA(ファシリテーション)                                      | ・キャリア開発論<br>・リーダーシップスキルB(パブリック・スピーキング)                           | ・神山STYLEリーダーシップ実践A(現代社会学領域)             | ・神山STYLEリーダーシップ実践B(健康スポーツ社会学領域) |      |

※必修：必ず修得しなければならない科目 選択必修：指定されている科目の中から一定の単位数を必修とする科目 選択：指定されている科目の中から自由に選んで履修できる科目

## 目指せる進路

- 大学院進学後、公認心理師(国家資格)を取得しプロの心理カウンセラーへ
- 准学校心理士を取得して子どもの教育・発達支援に関わる対人援助・サービスへ
- 大学で身に付けた知識・スキルを一般企業のキャリアに生かす
- 産業カウンセラーを取得して企業内でのメンタルヘルスの仕事へ
- 社会調査士・認定心理士(心理調査)を取得して商品やサービス企画の調査・分析のプロへ



取得単位や研究活動など、一定の要件を満たすと、プログラムを修了したことを認証する「オープンバッジ(デジタル証明)」が発行されます。

## PICK UP 授業

### 社会学入門A

現代社会学部の1年次生全員が学ぶ導入科目です。家族・パーソナリティ・教育・宗教・犯罪・メディア・消費社会・地域社会など身近なテーマを手がかりに、社会の「当たり前」を問い直し、社会的な見方・考え方を身に付けます。授業全体を通して、社会学とはどのような学びかを理解し、社会課題に目を向けるきっかけを得ます。

### 神山STYLEリーダーシップ入門

予測不能な現代、リーダーシップは役職に関わらず全員が持つべき課題解決のスキルです。組織とは共通の目標へ向かう集団であり、課題解決には共感という心理学的アプローチを備えたリーダーシップスキルが全員に不可欠。本授業では思考を繰り返してリーダーシップスキルを修得し、自分らしいリーダーシップの基盤を築きます。

## PICK UP 授業

### 消費者行動の心理学

私たちはなぜその商品を選ぶのでしょうか。この授業では、「欲しい」という気持ちから購買に至るまでの心の動きや、購買に影響を与える要因について学びます。意思決定や動機づけ、感情、広告や口コミの影響などを身近な例から考え、日常の買い物や心理学の視点で読み解きます。普段の行動が少し違って見えてくるかもしれません。

### 健康・医療心理学

体と心。影響を与えあう存在ですが、果たして「健康」な体と心とは何なのか。この授業を通して、私たちの体と心の「健康」と「病」とはどのようなことなのか、医療現場と日常生活で求められる体と心の「ケア」とは何か、を考えてもらいます。架空事例への対応方法をレポートとしてまとめながら、日常生活でも役立つ知識とスキルを身に付けていきましょう。

## 現代社会学部の学び

### 現代社会を生き抜き、社会を変えていく力を身に付ける

#### 次世代のリーダー育成

多角的な視点と対話で人と社会をつなぐリーダーへ

次世代のリーダーには、協働力や課題の本質を見抜く力が不可欠です。「リーダーシップ科目」では、課題解決の思考法や人を引きつける対話スキルを伸ばします。多様なリーダーシップの在り方を学び、人間理解と社会学的視点を生かすキャリアビジョンを描きます。

#### リーダーシップ理論



「リーダーシップとは何か」。その基本的な見方と考え方をさまざまな理論や具体例から解き明かします。今後の大学生活、未来の社会人生活で輝くために、「自分らしいリーダーシップ」をデザインする力を学びます。

#### 神山STYLEリーダーシップ実践



既存の概念や制度にとらわれず、新しい発想や価値観をうみだすことができる「次世代にふさわしいリーダーシップ像」の獲得を目指します。ゲストの講演や討論を通じて、リーダーの在り方に関する事例研究を深めます。

#### リーダーシップスキル



公の場で聴衆に想いを魅力的に伝える「パブリック・スピーキング」や、会議で相互理解と合意形成を円滑に進める「ファシリテーション」を学びます。論理的な説得や意見の引き出し方など、リーダーの素養を身に付けます。

#### 学科を超えて課題解決に挑戦

学科の専門性を融合し社会課題を解決する力を養う

複雑に絡み合う社会課題は、1つの専門性だけでは解決できません。現代社会学部では学科の枠を超えた仲間と実社会の課題に取り組む「プロジェクト演習」を展開しています。座学と実習を繰り返して専門性を深め、多くの出会いの中で実践的な解決力を養います。

#### プロジェクト演習

学科を超えた多様な仲間や教員と、実社会の課題解決に挑みます。座学と実習を往還し、専門知識とリーダーシップを統合した課題解決力を培います。国内外6つのプロジェクトから1つ選択し、2年次から複数年かけて取り組みます。



#### PICK UP

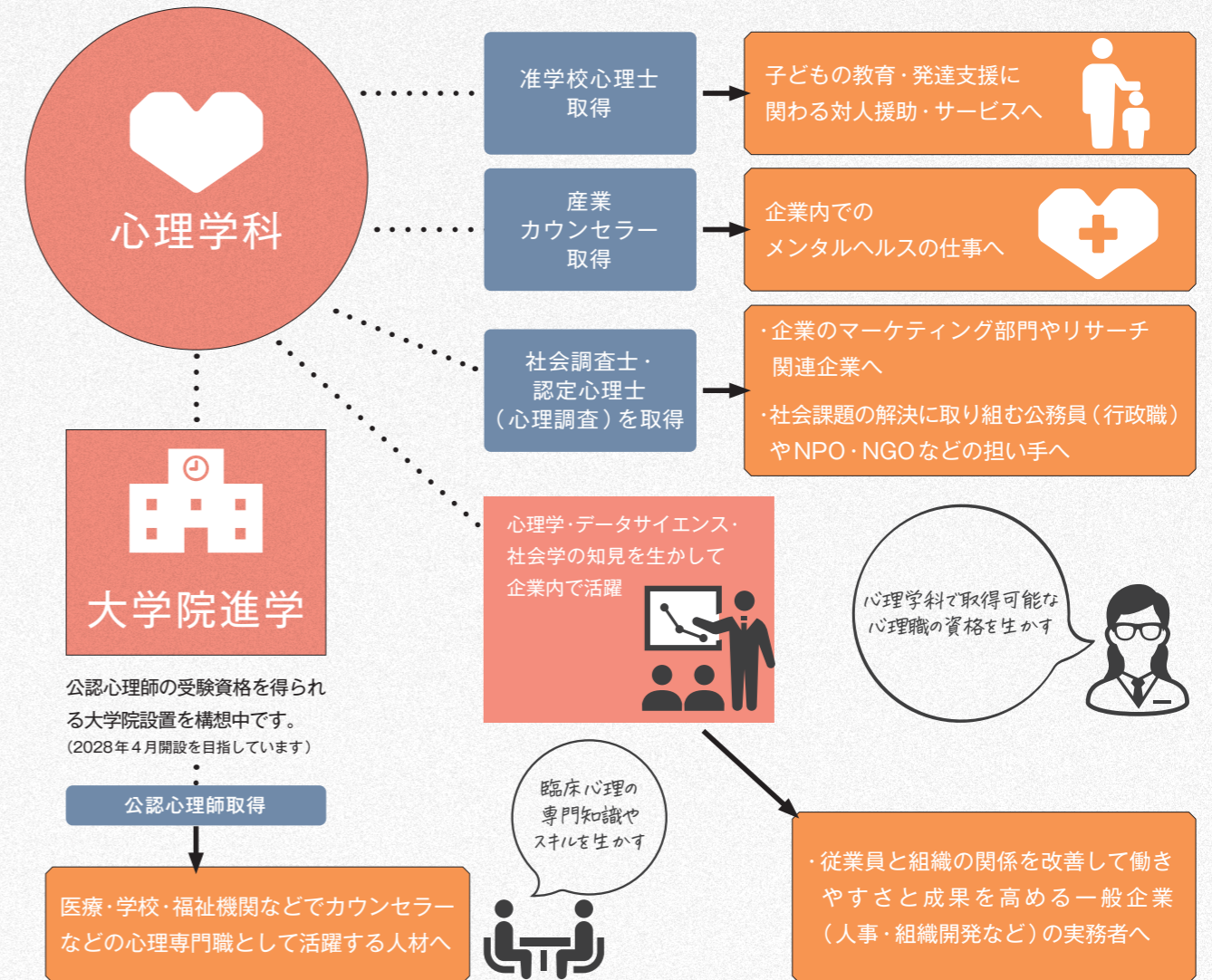
#### 地域の魅力や人々の生き方に触れ自らの理想的なキャリアを発見する(木原ゼミ)

現代社会で自立的にキャリアを形成するには、多様な人と関係をむすび、価値観を広げることが重要です。本ゼミナールでは「出会う」体験を重視した2つのプロジェクトに挑戦します。徳島県牟岐町の活性化を図る「牟岐プロジェクト」では、特産品の収穫、伝統食づくりなどを通して現地の文化・産業を体験。「LaVitaプロジェクト」では、多様な年齢や職業の方に取材・原稿執筆を行い、多くの出会いから自分らしい生き方を見つけます。



## ath 進路

### 幅広い分野への就職・進学が可能

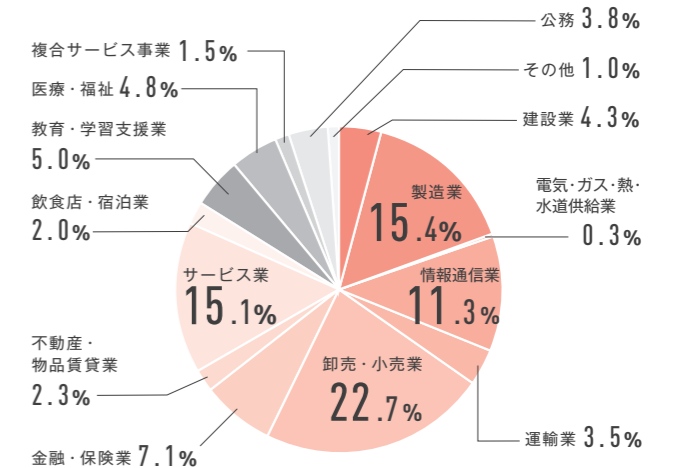


#### 2024年度現代社会学部(現代社会学科・健康スポーツ社会学科)就職実績

##### 就職先一例(50音順)

- アルペン
- イシダ
- 伊藤園
- ANA大阪空港
- 亀田製菓
- 京セラ
- 京都銀行
- 京都新聞社
- 京都中央信用金庫
- コナミスポーツ
- JR西日本
- 創味食品
- タカラスタンダード
- タキイ種苗
- ニトリホールディングス
- 久光製薬
- 明治安田生命保険
- 森永製菓
- ヤクルト本社
- 山崎製パン
- 良品計画
- ルネサンス
- ロクシンタンジャポン
- 小学校教員(大阪府)
- 国家公務員(農林水産省)
- 京都府警察本部
- 高知県警察本部
- 京都市消防局
- 京都府庁
- 奈良県庁

##### 就職先業種割合



※就職先業種割合については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。